

株主通信 (第87期 第1四半期)

2021年4月1日～2021年6月30日

Passion for the Next Innovation

～次なる革新への熱い思い～

株式会社 電業社機械製作所

証券コード 6365

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
この度の新型コロナウイルス感染症に罹患された方々には、謹んでお見舞い申し上げますとともに、一日も早いご回復をお祈り申し上げます。
ここに、第87期 第1四半期の株主通信をお届けいたします。
当社は現在、2020年度からスタートした「中期経営計画2022 D-Active」を鋭意推進中です。2年目となる2021年度から、一段高みを目指す「+1UP (プラスワンナップ)」を掲げ、向こう2ヵ年を通して達成を目指す新たな数値目標を設定しました。世界的な使命であるカーボンニュートラルの達成に向けたCO₂削減の提案などを通じてESGに関する取組みを推進してまいります。
株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2021年9月

代表取締役社長

村林秀晃



事業の概況

■経営環境

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により依然として厳しい状況にあるものの、先進国を中心にワクチン接種が進んだことにより、全体として持ち直しへの動きが進展しました。

わが国経済においては、米国や中国を中心とした海外需要の回復を受け、製造業を中心に持ち直しの動きが続いたものの、ワクチン接種ペースの遅れや変異株による感染再拡大による活動制限が長期化しており、本格的な回復は未だ見通せない状況が続いています。

■経営成績

当第1四半期連結累計期間における受注額は、官需部門で大型案件を受注するなど堅調に推移しましたが、非常に好調であった前年同期に対しては72.5%の47億28百万円となりました。売上高については、特に海外部門が前年同期に比べて増加したことから、前年同期に対し120.9%の35億52百万円となりました。利益については、前年同期に比べて売上高が増加したことから、営業損失58百万円(前年同期営業損失1億52百万円)、経常利益6百万円(前年同期経常損失87百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益9百万円(前年同期親会社株主に帰属する四半期純損失72百万円)となりました。

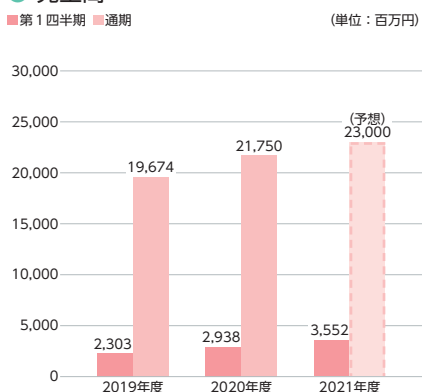
当社グループの売上高は、公共事業物件の割合が高いため連結会計年度末に集中する傾向があり、四半期別の業績には季節的変動があります。

■通期の見通し

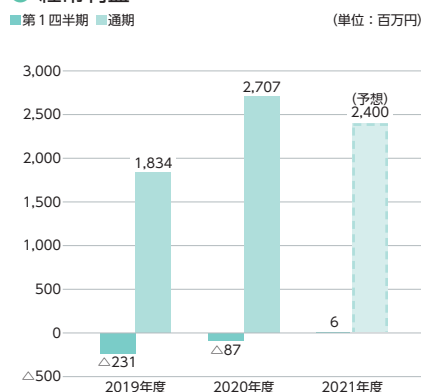
2022年3月期の当社の連結業績予想につきましては、2021年5月14日に公表いたしました業績予想から変更はありませんが、新型コロナウイルス感染症の収束状況等、今後の様々な要因によっては、大きく異なる可能性があります。

連結財務ハイライト

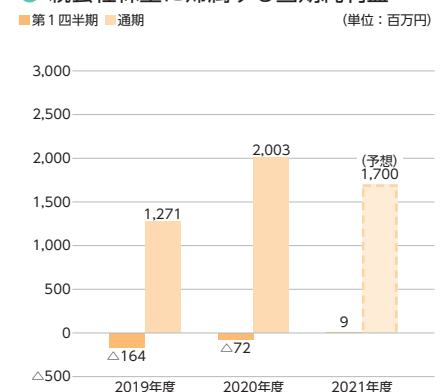
● 売上高



● 経常利益



● 親会社株主に帰属する当期純利益



電業社原動機製造所製水車を 当社のポンプ逆転水車で再生

当社グループ会社の株式会社エコアドバンスは、NiX湯涌ハイドロパワー株式会社から金沢湯涌温泉の旧水力発電所の再生事業用水車を受注し、2021年度末稼働に向けて建設中です。この旧水力発電所で使用されていたフランスス水車は、当社の前身会社である電業社原動機製造所製のもので、1939年から1998年まで約60年にわたり稼働していたものです。

本事業は旧発電所の既存構造物を一部利用した新規の水力発電所であり、発電出力は140kWと比較的小規模のため、採算性の面において、建設コストを如何に抑えるかが課題となっていました。フランスス水車やクロスフロー水車は高性能ですが高コストであるため適用は難しく、その点、標準ポンプを流用したポンプ逆転水車は低コストでの提供が可能で、性能的にも満足できるものであるため採用されたものです。



- 旧水力発電所に使用されていた電業社原動機製造所製フランスス水車 最大出力133kW (出力値は石川県近代遺産総合報告書による)



近年、再生可能エネルギーとして小水力発電の意義は見直されてきており、特に採算性の厳しい200kW以下の小水力発電においてポンプ逆転水車の可能性は拡大していくものと考えています。

当社グループは、持続可能な開発目標 (SDGs) の達成に寄与できるよう、再生可能エネルギーの拡大のためにポンプ逆転水車の更なる低コスト化および信頼性の向上に努めてまいります。



仕様	
流量	0.26m ³ /sec
有効落差	77m
水車型式	両吸込み形ポンプ逆転水車
発電出力	140kW

- 新設した両吸込み形ポンプ逆転水車 (工事中)

株式会社エコアドバンス

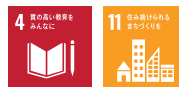
2003年に当社の環境装置部門が分離独立し、設立。発電所・河川などの浚渫清掃工事を行う水中排砂ロボット、小水力発電用ポンプ逆転水車などの製造販売を通じて循環型社会の構築に貢献しています。

プロスポーツチームとの スポンサー契約による地域支援活動

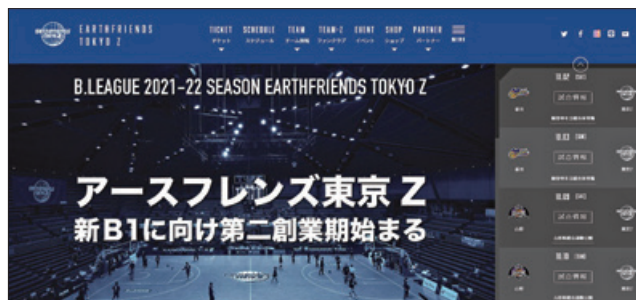
当社は、2020年12月に東京都大田区をホームタウンとして活躍しているプロバスケットチーム「アースフレンズ東京Z」とパートナー契約を締結しました。「バスケットボールを通じて持続可能な開発目標 (SDGs) への貢献とダイバーシティ社会の一助となることを目指す」同チームの姿勢が当社の企業理念と共通し、当社の本社所在地である大田区の活性化につながるからパートナー契約の締結に至りました。

また、2021年6月には静岡県沼津市をホームタウンとするプロサッカーチーム「アスルクアロ沼津」とサポーター契約を締結しました。当社の製造拠点である三島事業所が所在する三島市に隣接する沼津市をホームタウンとし、「地域活性・人材育成、豊かな街づくりに寄与する」ことなどの活動方針は当社の企業理念に通じるものであり、三島市を始め静岡県東部地区の活性化につながるからサポーター契約の締結に至りました。

当社は、良き企業市民として地域の活性化とスポーツを通じた豊かな人材育成を支援してまいります。



- Bリーグ：アースフレンズ東京Z ホームページ



- Jリーグ：アスルクアロ沼津 ホームページ



ホームページ
のご案内

当社ホームページ

<https://www.dmw.co.jp/ir/>

最新のIR情報につきましては、当社のホームページ「IR情報」をご参照ください。

「株主・投資家情報」
検索はこちらから▼

電業社 IR

検索

